

さくら通信

平成23年5月15日

No. 24



発行者：NPO法人 下関深坂さくら友の会

住 所：下関市安岡町1-8-3

TEL:083-258-0143 FAX:083-258-5910

Eメール：misaka.sakura@arrow.ocn.ne.jp

HP: <http://members3.jcom.home.ne.jp/shuzo3/sakura/>

3月13日定例会

この朝は37名出席。桜ならぬ「シャクナゲ」の植樹会である。バイパスから森の家に入る道路沿いに50本のシャクナゲを植えた。前年に植えたシャクナゲは、杉林の中で、日当たりが悪すぎると心配があり、今回は日当たりに配慮した。

3月29、30日さくら研修旅行 今回は人吉の市房ダム、不知火海、熊本城などをめぐる1泊2日のバス旅行である。ダム湖は大きく、周囲に桜2万本を植えたとい。バスで一周した。桜は満開、噴水も歓迎してくれた。3月11日の東日本大震災の後であり、自肃ムードの高まる日本だが、そんなことは日本の健康な部分まで病気になる、キャンセルされる観光地は堪ったものではないと、決然として断行した。各地の名物の賞味も研修の一環。熊本城を背景に一行の記念撮影。人吉城址、不知火海の水上遊覧。熊本城の桜、最近完成の昭君の間など素晴らしい自然や文化に堪能した研修旅行でした。



4月3日深坂さくらえー写真は枝村さん提供ー



今年は桜が遅い。さくらえに咲いてくれるのか心配したが、前日くらいから暖かくなり、何とか5~7分咲き位に漕ぎ着けた。被災地の復興が1日でも早くできますようにと、応援を込めてプログラムを組んだといわれるISHIN吹奏楽団のブラスバンド、平家太鼓勝山会、周防・猿舞座の猿まわしなど、協力出演も豪華でした。最後、全員で”ふるさと”を大合唱した。無料のぜんざいのサービス。じやんけん大会の商品に豪華ラン鉢が用意されるなど、心温まるさくらえでした。

4月10、17日維持管理部会

もみじ谷の手入れのため10日には11名、17日には16名が参加して作業しました。写真は谷川に橋を架け、チッパーマシンを渡しているところ。



4月18日松立会い

松枯れ防止目的のEM実験をしてきた松林で、枯れた松を伐採するため、市の要請で立会いました。17本の松のうち、9本はEM投与、8本は無処置。今回生き残った松は6本。そのうち5本がEM処理をしたものでした。EM処理は有效である可能性が高いことを示唆しているようです。

第四回深坂さくらえ俳句会

《開催日時》 平成二十三年四月三日

《開催場所》 下関深坂自然の家・芝生広場

《投句一覧（51句）》

濱福郁子先生選

《さくら大賞》

五分咲きの花にも夫の本復を
(優秀賞)

城戸富美子

さくら会や一緒に居たき人のこと

城戸富美子

地震募金してさくら会の投句箱

中原 邰

さくら会は優しい人の集まりよ

福田麻貴子

(佳作)

さくらえを誇る深坂の大堤
桜会の深坂にどっと大歓声
さくら会やぼくの心も楽しくて
おそ桜開く数だけ笑顔あり

中原 邰

山田 澄枝

大中 宏斗

大中 秀斗

【講評】皆さん仲々お上手で、感心いたしました。お年は存じませんが、子供さんの御投句が素敵でした。今は携帯の世の中で、日本語の美しさや深い意味の解らない方が殆どですのに、お小さい時から俳句をなさると云うことは本当に素晴らしいことです。

(玉藻同人) 濱福郁子 作

初花の便りに選者申し受く

その中に静御前(しづか)と紛(まが)ふ花衣

予定

6月12日 維持管理部会

7月10日 定例会